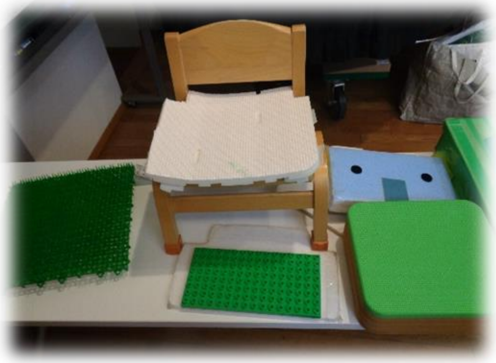
8月１日（金曜日）特別支援教育・保育研修会



○気になる子の個別のニーズに合わせた支援○

気になる子の行動には理由があること、幼児期は自分の体に気付き、知っていく段階であること、感覚の受け取り方には個人差・個人内差があることを学びました。また、日常生活の支援のポイントとして、一連の動作を途切れさせないことや嫌にならない時間で終えること、動作の手順を一定にし、視覚的に分かるように工夫すること等を教えていただきました。支援グッズもたくさん紹介していただきました。

8月４日（月曜日）タイムリー研修会

○こどもの心と体を育むわらべうた○

いろいろな「わらべうた」の歌い方、遊び方の実践を通して、型に捉われず、替え歌などアレンジ次第で、乳児の目線、幼児の目線での遊びの幅が広がることを学びました。また、わらべうたは違うこと（リズム、ダンス等）を同時にするため、脳に刺激を与え、脳のシワが増えるということも教えていただきました。

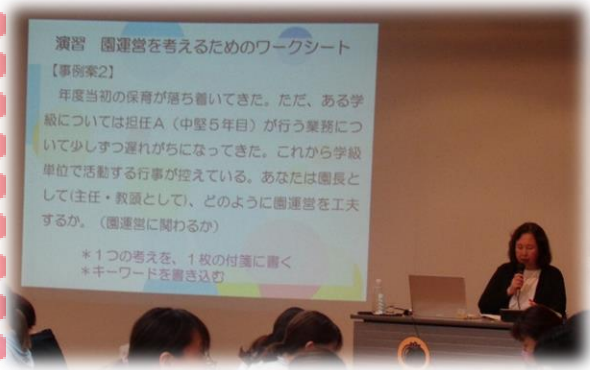
公私幼保合同研修

8月 26 日（火曜日）地域型保育事業研修会

○地域型保育施設における強みと課題
～子どもにより添った保育とは～○

０歳児から２歳児各歳児で大切にしたいことや、丁寧な保育を実現するためには発達過程を理解しながら子どもの観察をすること、言葉にならない気持ちの表現に耳を傾け、共感することが大切であることを学びました。眼差しの向け方で子どもの成長は大きく変わるので、まずは子どもを肯定的に受け入れてみることが大切であることを教えていただきました。

8月 28 日（木曜日）主任・ミドル級研修会



○職場内の連携・チームづくりについて○

自分らしさを生かし、一人ひとりが専門家としての自覚をもって資質向上に努める上で、周りと話し合いを進め、園所内で風通しのよい関係性をつくることが大切だと学びました。「自園所の強みや弱み」「地域や家庭との関わりの強みや弱み」についてグループ討議を行い、種別の違う園所同士意見交換をしました。